

平成23年度

# 施政方針概要

福知山市

平成23年度の予算案をはじめ、その他の諸議案の審議をお願いするにあたり、本市を取り巻く情勢を展望し、市政運営に関する私の所信を申し述べ、議員並びに市民の皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

今、世界経済は緩やかな回復が期待される中で、我が国の経済においても、昨年の秋から足踏み状態にあるものの、今後は踊り場を脱する動きが進むものと見込まれておりますが、その動きについては、地方においてばらつきがあり、本市の景気動向や雇用・所得環境の改善についても、引続き予断を許さず、注視しなければならないと考えております。

また、自然の脅威は計り知れず、ウイルスによる口蹄疫や鳥インフルエンザの流行、さらに今年に入って新燃岳の噴火が発生し、今後予断を許さない状況であります。幸い本市にとっては、去年は、異常気象の影響による猛暑が続き農作物に被害は出たものの、台風や局地的集中豪雨による大きな災害はなく市民生活の安心・安全な暮らしが確保できたことは幸いでありましたが、「災害は必ず来る」ことを念頭に入れて備えなければなりません。

さらに、去年は有害鳥獣駆除活動中に尊い二人の命を失う痛ましい事故があり、改めて哀悼の誠を捧げますとともに、二度とこのような事故が繰り返されないよう努めなければなりません。

加えまして、昨年、本市におきまして不適正な事務処理が相次いで発覚し、市民の皆様との信頼関係を根底から揺るがしたことを、改めてこの場をお借りいたしましてお詫び申し上げますとともに、信頼回復に向け全職員が一丸となって取り

組まなければならないと考えているところであります。

他方、暗いニュースが続く中で、福知山市動物園の「ウリ坊とみわちゃん」の仲良しコンビが愛らしい姿で全国的に話題になり、大いに福知山市の名前を全国発信してくれたことは大変喜ばしい限りでありました。

さて、私は、市長に就任して三回目の予算編成に臨みました。

一年目は、未来に向かって大きく羽ばたき、福知山市の「礎を築く」ための予算を、二年目では、輝く未来を切り拓くために、何事に対してもあくなき「挑戦」としての予算を、そして、今回は、常に希望をもって、ふるさと福知山の未来につなぐ新たな「創造」の予算編成を行ったところであります。

私は、次の二点を基本的な考え方として、予算編成に臨みました。第一は、暮らしのセーフティネットを守り、市民の皆様が希望ある将来像を描き、いきいきと安心して暮らせるまちの実現のための施策を地域の特性をいかして、着実に効果的に実施するとともに、市民のニーズに対応した施策を適時・的確に実施するために、市民協働のまちづくりを推進すること、第二は、限られた財源と人員を最大限に活用し、施策の「選択と集中」を図りながら、中長期的な財政運営を見据えた持続可能な財政構造を実現できるよう徹底した財政健全化に取り組むこととであります。

地方財政の状況を申し上げますと、企業収益の回復等によりまして、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が増加する一方、社会保障関係費の自然増や公債費が高い水準で推移すること等により、定員純減や人事委員会勧告等の反映に伴い給与関係経費が大幅に減少してもなお、依然として大変厳しい状況が続くものと見込まれております。

国全体では、今申し上げましたとおり企業収益の回復が見られますものの、地方ではばらつきがあり、本市においては、法人市民税は若干の増は見込んでおり

ますものの、雇用環境の回復の遅れが長期化する中で個人所得の減少、さらには固定資産税の減少等により、市税収入は対前年比で1.9割下回る三年連続減収となる厳しい状況が続くものと見込んでおります。

こうした厳しい財政状況ではありますが、新年度の当初予算は、福知山の未来につなぐ「創造戦略2011」推進予算として、「市民力と地域力が発揮できるまちの創造」、「安心して子育てができ健全な子どもを育むまちの創造」、「活気にぎわいあふれるまちの創造」、「生活の安定と産業の振興をサポートするまちの創造」、「暮らしといのちを守るやすらぎのまちの創造」の五つの柱を未来につなぐ『五つの創造プラン』として、積極的に取り組むこととするとともに、「NEXTふくちやま次世代創造戦略」、「城下町福知山魅力と活力創造戦略」、「人・自然共生ふくちやま自立・元気創造戦略」、「便利・快適ふくちやま公共交通創造戦略」の四つを四大重点戦略として予算を編成いたしました。

その結果として、平成23年度一般会計当初予算は、396億円、特別会計の予算は総額253億9,047万8千円、公営企業会計の予算は、総額134億8,315万7千円、全会計を合わせますと784億7,363万5千円としたところであります。

それでは、歳出予算の主な内容を中心に具体的に申し上げます。

重点戦略の第一は、「NEXTふくちやま次世代創造戦略」であります。

ふくちやまの近未来を創造する子ども達と、未知なる可能性を秘めた若者が、健全に成長する基盤づくりを進めてまいります。

まず、乳幼児の健やかな成長を支援するため、民生児童委員が生後4ヶ月までの乳児の家庭を訪問し、育児のストレス解消や情報等を提供し虐待の未然防止にもつなげる「こんにちは赤ちゃん事業」の創設や園児が安心安全に遊べる環境を整備するため、モデル事業として、公立保育所の園庭の一部を芝生化し、成果と課

題を検証いたしますほか、民間保育所における保育時間の延長を促進するため補助を行い、多様化する保護者のニーズにきめ細かく対応した保育サービスを実施するとともに、三歳児から小学六年生までの通院医療に対して、一日500円の自己負担で受診できる「ふくふく医療」制度を引き続き実施いたします。

さらに、児童生徒の学びとふれあいを支援するため、子どもたちに宇宙への夢を提供するため、小惑星イトカワ探査機「はやぶさ」の帰還カプセルや関連物品を、5月7日から10日までの4日間、三段池公園総合体育館サブアリーナで展示をいたします。

また、子どもたちの個性を伸ばすため、異校種間等の連携強化や教師の授業力向上等を図り、連続性のある学校教育を実践いたします。さらに、これからの社会を担って行く若年層から市に対する意見や要望を聞き、今後の市政運営に生かすため、「未来からの提言—ふくちやま中学生議会」を開催いたしますほか、これまでより市民の皆様から直接意見や提言を聞き私の思いを語る場を設けておりましたが、幅広い年齢層の市民が積極的に市政に参加しようという機運を盛り上げ、市民参画の開かれた行政を推進するため、新年度は「次世代と語るNEXT福知山」と題して、新たに高校生を対象としたタウンミーティングを開催いたします。

さらに、若者の仕事と生活を応援するため、昨年創設いたしました「元気出す地域活力支援事業」に、新年度は「若者創造枠」を新設し、若者のイベントやまちづくり活動を支援してまいります。

加えて、新たに就職が困難な求職者を試行的に短期間雇用する国の「試行雇用奨励金制度」を利用する企業に対して、交付奨励金の2分の1を限度に交付する「試行雇用おうえん助成金交付事業」の創設や新規創業を目指す「起業者」への支援として、創業関連融資の6カ月分の金利を全額助成する「起業おうえん助成金交

付事業」を創設いたします。

重点戦略の第二は、「城下町福知山魅力と活力創造戦略～中心市街地活性化」であります。

現在計画を進めている「福知山市中心市街地活性化基本計画」が、内閣総理大臣の認定を受けることになれば、京都府下で唯一の『認定基本計画』となるものであり、目指すべき将来像『歴史と文化が育んだ豊かな暮らしと賑わい交流のまちづくり』の具現化に向けた、まさに官民協働によるまちづくりがより実効性のあるものとなるものであります。

まず、城下町の風情と賑わいを再生させるため、本年度は福知山城下の市民プール跡地を利用して福知山城周辺賑わい創出事業に着手するとともに、福知山城から京街道へとつながる内記一丁目の歩道橋を城と調和するデザインのものにする改修工事に着手しているところであります。新年度では、明智光秀ゆかりの地としての情報発信や手づくり甲冑隊の創設などを通して「城下町福知山」に新たな魅力を加えるとともに、藍染めのれんを活用した景観形成に助成し、まちの個性化を図るとともに、福知山城から京街道、新町、広小路界限など江戸時代の「まち割り」から、明治・大正・昭和のたたずまいを残すまちなみや建造物を活用し、景観に配慮した「まちなか観光散策ルート」の整備を行なうための計画を策定するほか、地域の特性にあった建物の誘導、家並みの統一を図ることでの城下町の雰囲気醸成を推進するため住民の皆様と連携をとりながら研究を行ってまいります。

次に、中心市街地活性化への取組みを具現化するため、福知山城周辺の活性化やまちなか居住の推進など、中心市街地活性化の具体策の仕組みづくりを支援するため、中心市街地活性化まちづくりプロジェクト応援事業を実施するとともに、中心市街地に、一戸建ての居住用個人住宅を新築または購入されて移り住んでい

ただく方に助成を行なう「まちなか居住応援事業」を創設いたします。

さらに、福知山駅周辺地区の活気と人の交流を創出するため、まちの顔である福知山駅北に市民検討会議の検討結果を基本とする「学ぶ・集う・支える」機能を備えた滞在型の施設「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設に向けた基本設計・実施設計を行なうとともに、福知山駅周辺土地区画整理事業の大規模保留地等を購入し、定期借地として商業・業務施設を公募し、土地利用の促進、中心市街地の活性化を図ってまいります。

重点戦略の第三は、「人・自然共生ふくちやま自立・元気創造戦略～周辺部の活性化」であります。

活力あるまちづくりは、市街地と周辺農村部双方が調和のとれた発展を目指すことであります。

地域の特性や個性を活かすとともに、農産物の鳥獣被害に歯止めをかけ、緑豊かな農山村地域を元気にいたします。

まず、特性・個性を活かした地域づくりを支援するため、三和町千束地内に、地域特産物の直販を始めるための備品の整備を行なうとともに、夜久野地域の重要な観光資源である「玄武岩公園」の人工滝設置等による修景整備を行います。さらに、由良川を地域資源と捉えた大雲水辺の里づくり事業により、舟の運航実証実験など利活用の検討を行ないます。

また、きめ細かな安心安全対策として、支所長裁量で緊急かつ迅速に対応できるようにいたします。

さらに、農山村地域の人口減少や少子高齢化の進行による集落機能の低下などに対応するため、「ふくちの農山村応援プロジェクト事業」の対象集落から、人口・地理的要件で選定した集落にも対象を拡大し、新たに「ふくちの農山村応援事業」として、地域の実情に合わせた支援を行ない、過疎・高齢化集落の維持、

再生、活性化を図ります。

また、地域の特性を高めるには、ブランド力をつける必要があり、地場産農産物のブランド化を目指して農産物の六次産業化の取組みを支援してまいりますほか、「紫ずきん」や「万願寺とうがらし」等の京野菜の生産拡大を推進するとともに、「ふるさとの味再生プロジェクト事業」による山間地域の特色をいかした特産物の育成についても推進してまいります。

さらに、里地・里山の環境整備と保全活動を支援するため、農林業経営に深刻な影響を与えております有害鳥獣対策として、鳥獣被害防止特別措置法に基づく「福知山市鳥獣被害防止計画」を見直し、京都府内では初となります有害鳥獣捕獲の駆除実施隊を8名構成で新設するとともに、集中捕獲や一斉捕獲さらには広域捕獲など機動的・効果的な捕獲に努めてまいります。さらに、シカやイノシシなどの進入防止対策に更なる支援を行なうほか、野生動物との棲み分けを図る「共生の森づくり」や農地保全を兼ねたバッファゾーン整備に取り組むとともに、近年急増していますアライグマ対策についても、必要な措置を講じてまいります。また、切捨て間伐から利用間伐に移行させる「森林整備加速化事業」や「間伐材出材奨励補助」などの取組みと併せて、作業道復旧や施業路開設など林内路網整備の推進を図り、里地・里山を守ってまいります。

重点戦略の第四は、「便利・快適ふくちやま公共交通創造戦略」であります。

誰もが住みやすい、住んでみたいまちを目指して、公共交通の利便性を高めるため、高校生の通学や高齢者の通院などを支援するとともに、交通空白地域の解消を図ってまいります。

現在、民間路線バス等を利用して市内の高等学校に通う生徒の定期券購入費は、遠距離では大きな経済負担となるとともに、バス利用が敬遠される要因ともなっています。そこで今回、高校生の経済的負担をさらに軽減するとともに、バス利

用を促進するため、従来の補助制度を大幅に拡充いたします。また、鉄道による通学者についてもバスと同様に定期乗車券購入補助を行い、公共交通の利用促進を図ります。これによりまして予算額は、本年度の21万円から新年度は1,216万7千円に、約1,200万円大幅増額をいたしております。

さらに、バス利用の多い医療機関へのアクセス性を高めるため、市立福知山市民病院へ民間バス事業者の路線バスの乗り入れができるよう、病院玄関前ロータリー一部分の改修とバス停設置工事を行ないます。

また、三和・夜久野・大江地域等の市街地周辺部の交通空白地域における交通手段を確保するため、福知山市過疎地有償運送ガイドラインに基づき移送サービスを行うNPO法人等への運行支援を創設いたします。

次に、未来につなぐ『五つの創造プラン』のうち、このほかの主要施策について申し上げます。

まず、「市民力と地域力が発揮できるまちの創造」であります。

まちは、そこに住む人々の熱意と行動力が地域の魅力を高め、新たな力を生み出すものであり、市民協働こそが新しい福知山を創りあげていくものと確信いたしております。そのためにも、「(仮称)市民協働推進会議」を設置し、協働型社会の実現に向けて『自治基本条例の骨格』や『新たな地域運営の仕組みづくり』等について具体的な方策の検討を深めてまいります。

また、新年度は、新市建設計画を基本に策定された第四次総合計画の前期計画を社会経済情勢の変化に即した見直しを行い、市民協働による「人・地域・自然を未来につなぐ」力強いまちづくりを推進してまいります。

次に、「安心して子育てができ健全な子どもを育むまちの創造」であります。

福知山市に生まれてくる誰もが、また移り住んでこられた誰もが、口をそろえて「福知山に生まれてよかった、住んでよかった、ずっと住みたい。」と思えるま

ちづくりこそが、私の目指すところです。

そのまちづくりの中心になるのは、将来を担う子どもたちであり、その育成、支援は本市の最重要施策と考えており、「次世代育成支援行動計画」後期計画に基づき、事業を推進してまいります。

「放課後児童クラブ」につきましては、保護者の要望に応え、指導員の代表者を設置し、組織体制の強化を進め、更なる子育て支援に取り組んでまいります。さらに、本年4月には、本市初となります公設民営方式での「上川口保育園」を開園いたします。

子ども手当につきましては、中学3年生までの子どもを養育している家庭に、月額1万3千円を支給し、さらに、3歳未満の子どもを養育している家庭には、月額2万円に引き上げて支給してまいります。

私は、「教育のまち福知山」にふさわしい環境の充実を図ることとして、その条件整備に努めてまいりました。さらに教育効果を高めるために幼小中一貫・連携教育の推進に努めてまいります。

また、学力の向上を目指すための施策として、「文武向上プラン学校支援事業」を継続実施するとともに、不登校対策につきましても、「心の安定基地づくり推進事業」を継続実施するとともに、未来を担う子どもたちの安全を確保し命を守るため「いじめ根絶対策事業」についても引続き実施して、子どもたちが笑顔で過ごせる福知山を創造していきます。さらに、発達障害等のある幼児の早期発見・早期支援に努めるとともに、保育園・幼稚園から小学校へ円滑につなぐ体制ができましたので、今後は小学校から中学校、中学校から高校へ円滑につなぐシステムづくりを、国の「特別支援教育総合教育推進事業」を活用しながら進めてまいります。

新学校給食センターの建設に向けては、新年度公設地方卸売市場の隣接地におい

て工事着手し、平成25年度に全市立小中学校完全給食化を目指します。

図書館につきましては、中央館と三和・夜久野・大江分館の電算システムの統合による一体的な運営を円滑に進めるとともに、蔵書公開システムを導入して、利用者の利便性の向上を図り、市民の身近な生涯学習施設として、一層の充実に努めてまいります。

次に、「活気とにぎわいあふれるまちの創造」であります。

活気とにぎわいあふれるまちを創造する観点から申し上げますと、文化・スポーツの振興を図ることにより、市民力の向上とともに活気とにぎわいが創造されます。

本年は、京都府ではじめて開催されます第26回国民文化祭・京都2011の成功に向けて、福知山市実行委員会を中心に、市民の皆様と協働し、地域文化を継承・発展させるため、本市では、盆踊りフェスティバル・日本「鬼文化」交流祭典を実施いたします。さらに、三段池公園総合体育館にバスケットゴールを新設するとともに、多目的グラウンドのサッカーゴールの軽量化を行うほか、下豊富地域多目的グラウンドについて、用地等買戻しを行うなど施設スポーツ観光都市福知山の充実に努めます。

次に、「生活の安定と産業の振興をサポートするまちの創造」であります。

平成20年12月に「福知山市緊急不況生活支援対策本部」を設置以降、「解雇」や「雇い止め」により離職を余儀なくされた方々への生活支援対策として総合相談窓口や市営住宅への緊急入居、くらしの資金の貸付等に全力で取り組んでまいりましたが、今後も引き続き取り組んでまいります。

新年度においても、離職を余儀なくされた非正規労働者や中高年齢者などの失業者に対し、京都府緊急雇用対策基金を活用し、総額2億627万5千円の緊急雇用特別対策事業費により、49事業で新たに182人の雇用を創出し、次の就

職までのつなぎとなる雇用の機会を創出、失業者の生活安定、地域の活性化を図ってまいります。

また、小規模企業融資「マル福」につきましても、さらに6ヶ月間延長してまいります。

雇用の面では、昨年創設いたしました「再就職おうえんスキルアップ助成金給付事業」をさらに一年間延長するほか、ホームヘルパー研修受講支援事業についても、要件を緩和して受講範囲を拡大するとともに、高校生を中心とする若者の地元企業への就職を促す「ふるさと応援事業」を引き続き取組んでまいります。さらに、「福知山雇用連絡会議」の一層の強化を図り、就職フェアの開催、企業ガイドの発行、関係機関との情報交換による雇用の安定と促進を図ってまいります。

一方、産業振興の面でも引続き長田野工業団地アネックス京都三和への企業誘致と長田野工業団地立地企業等の既存企業の増設等を支援してまいります。

次に、「暮らしといのちを守るやすらぎのまちの創造」であります。

高齢者が健康で生き生きと生活でき、障害のある人が住み慣れた地域で、自立した生活や社会参加ができるまちづくりが、暮らしといのちを守るやすらぎのまちの創造であります。

本市の高齢化率は25%を超え、超高齢社会の中で、「第五次高齢者保健福祉計画」、「第四期介護保険事業計画」の見直しを行い、平成24年度から平成26年度までの3カ年間の介護保険料、施設整備方針を策定いたします。

外出支援助成事業では、下肢等が不自由など単独で公共交通機関の利用が困難な高齢者が、医療機関のほか買い物にも利用できるよう拡充いたします。

介護支援サポーター活動事業では、高齢者の社会参加・地域貢献活動による介護予防事業として、活動場所を在宅にも拡充いたします。

また、基本チェックリストによる生活機能評価を行なうことにより、要支援要介護状態になることの事前防止を行なうとともに、市内6カ所の日常生活圏域で通所型の運動機能向上の事業を拡充実施いたします。

障害者福祉におきましては、平成20年度に策定いたしました「第二期福知山市障害福祉計画」の数値目標の進捗状況を把握し、課題抽出を行い、平成24年度から3カ年間の「第三期福知山市障害福祉計画」の策定に取り組んでまいります。市民の健康づくりは、「福知山市健康増進計画」に基づき、イベントの開催や「福知山のウォーキングコース十選」に取り組むことで健康づくり事業を推進してまいります。

節目の年の受診を無料とする女性特有のガン検診を継続実施するとともに、母子保健事業についても、不妊治療費助成事業、妊婦健康診査公費負担の内容を拡充するとともに、妊婦歯科健康診査事業を継続し、安心して妊娠・出産できるようにいたします。

さらに、平成23年1月から開始いたしました子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種を全額公費負担で行なうとともに、その他定期予防接種も円滑に実施し、次代を担う子どもたちの感染症等を予防してまいります。

国民健康保健事業につきましては、医療費の増大にともない保険料の引き上げが必要であります。長引く経済不況を勘案する中で、被保険者への負担増を避けるために据置といたしました。

また、60年間へき地医療を担ってきた金山診療所については、平成23年3月末をもって雲原診療所と統合することといたしましたが、今後につきましても地域住民の皆様の健康増進と地域に根ざしたへき地医療体制を推進してまいります。

市民病院につきましては、当地域のみならず広域化する医療ニーズに応えるため「命と健康を守り、信頼される病院」を基本理念に、医師、看護師等の医療スタッフの確保と地域医療連携を進め、救急医療、急性期医療を中心とした高度で質の高い医療を市民の皆様提供し、地域完結型の医療体制の確立を目指してまいります。

自然と調和した生活を暮らして行くためには、地球温暖化を食い止めることが不可避であり、次世代に引継ぐ、今を生きる我々の使命であります。

そのためには、できるところからの取組みが重要であり、「福知山市環境基本計画」の基本理念である「環境の環づくり」を図るため、ゴーヤを使った「みどりのカーテン」実施率日本一を目指し「環境のまち・福知山」を目指すとともに、住宅用太陽光発電システム設置事業を引続き実施し、家庭における地球温暖化防止対策の取組みを進めてまいります。

また、福知山の豊かな自然遺産をまちづくりに活かすべく天然記念物等の総合的な調査を実施してまいります。

地球規模で進む温暖化のため、ゲリラ豪雨のように、いつどこで大きな災害がおこるのか予想がつかない昨今であります。そのためにも、災害に強い福知山市を築き上げる必要があり、「消防本部・消防署」機能を十分活用し、市民の皆様に自助・共助の能力を高めていただくための「市民防災研修機能」や総合的な「災害対策機能」を併せ持つ「(仮称)総合防災センター」の整備を引き続き進めてまいり、「災害に強い市民」の育成、「災害に強い福知山市」の実現を目指してまいります。

また、安心・安全の確保が最優先であり、学校施設の耐震化については、引き続き積極的に実施するとともに、東分署及び北分署の消防庁舎についても耐震診断を行います。

また、市街地の内水・浸水対策につきましては、新年度で3カ所目となります。厚中地区仲ノ坪北貯留施設の築造に着手いたします。さらに、土師排水区と法川排水区におけます浸水対策事業の基本設計を実施いたしまして、事業認可の取得に向け関係機関と協議を進めてまいりますほか、「自助・共助」の観点から市民協働による雨水対策を推進するとともに、水資源の循環利用を促進することを目的といたしまして、家庭用雨水貯留槽設置促進事業を創設いたします。

安心・安全対策のひとつでもあります道路整備や河川整備については、広域交通網の基幹道路であります国道9号「福知山道路」の四車線化や土師・堀地区の高架橋工事さらに野家取付工事等の早期完成について、引き続き国に強く要望してまいりますし、国道429号榎峠のトンネル化は、最重要課題であると考えており、府道整備と併せまして引き続き早期整備促進をお願いしてまいります。

また、市街地と周辺地域を結ぶ市道整備につきましても、菱屋堀線をはじめ西町市寺線のバイパス化工事など市民生活と密着した生活道路の整備として改良事業等実施して、市民の皆様の利便性と安全性の向上に資してまいります。

治水事業につきましても、由良川並びに土師川流域の安心・安全な暮らしを実現するため、「由良川水系河川整備計画」の早期見直しを含め、一日も早い治水対策の完了に向け、関係機関への要望を進めてまいります。

ライフラインの安定確保は、安心・安全な生活を過ごすためには欠かせないものであり、ガス水道事業については、経年管、老朽管の布設替えを推進してまいります。

また、簡易ガス料金については、料金水準の適正化を図るため料金改定をお願いいたしております。

議会で審議いただきました福知山市土地開発公社につきましては、今後の経営健全化について検討を行なう必要があることから、第三者委員会による検討委員

会を設置して、今後の方策等について協議をしております。

以上、市政運営に関する私の所信の一端を申し述べましたが、地方を取り巻く経済状況は引続き厳しいものがあります。目まぐるしく絶えず変化する社会経済情勢に的確に対応しながら、持続可能な財政構造を堅持することが求められます。福知山市は合併団体であり、平成27年度を境にして地方交付税の合併算定替えが段階的に減額されることとなります。そのために、昨年に引続き人件費を中心に行政内部経費等のスリム化を行なうとともに、財政調整基金や減債基金を取り崩すことなく、地方債の発行についても前年度を大幅に下回るよう抑制するとともに、交付税措置が期待できるものを選んだところであり、さらに未利用財産の売却や寄附金の活用、広告収入の積極的確保を図り、平成24年度からスタート予定の第五次行政改革大綱を視野に入れながら、「福知山の未来につなぐ」予算を編成いたしました。

私は、「ふるさと福知山を幸せの舞台」にするため、市民の皆様方とともに、支えあい、補いあい、手を取りあいながら、次の世代に自信を持って引継ぐことができる福知山を創造してまいる覚悟であります。

議員の皆様、並びに市民の皆様方のこれまでに寄せられましたご理解とご協力に対しまして、深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、今後とも市民の皆様方のより一層のご協力と、議員の皆様方の絶大なるご賛同を賜りますようお願い申し上げます。施政方針とさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。